

○ 令和4年度の課題及び今後の方向性に対する令和5年度の取り組み

(1) 帯広の明日を拓く力の育成

① ふるさと教育の推進

主な取り組み	令和4年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和5年度の取り組み
地域資源を活用したふるさと理解の促進	○郷土への愛着や誇りを育むため、引き続き「おびひろ市民学」による学びをすすめるほか、地域資源や特色を生かしたスポーツ体験や、動物、科学等に触れる機会を提供する	○「おびひろ市民学」において、十勝・帯広について学ぶ機会を提供したほか、児童会館では、昭和50年代の街並みのジオラマの常設展示コーナーを開設し、まちづくりや歴史に興味関心を高める機会を提供、動物園では、地域の動物をテーマとした講座を実施（おびZoo 寺子屋ばん馬編、小学生のための動物園塾、モモンガってなんだ？夕暮れモモンガ観察会）、スポーツ体験として、「ほっとドリームプロジェクト」の実施、明治北海道十勝オーバルを十勝管内小学校へ授業開放
食を通じたふるさと理解の促進	○地域の食や産業への理解促進を目的に、地場産食材を活用した「ふるさと給食」を提供する ○「おびひろ市民学」における「帯広らしい食育プログラム」を実施し、食を通じたふるさと理解をすすめる	○地場産食材の収穫期に合わせ、9～11月の各月1日ふるさと給食を提供したほか、学校給食をテーマとした標語コンテストを開催 ○食を通じたふるさと理解をすすめるため、「おびひろ市民学」における「帯広らしい食育プログラム」を実施
地域社会に参画する意識の醸成	○各団体等と連携し、体験活動やリーダー研修による、養成事業の充実を図る ○計画的な金銭管理の必要性や契約の仕組み等の知識を身に付ける機会を提供する ○親子防災講座を実施し、ボランティアや防災活動への参加等への意識を高める	○地域子ども会リーダー宿泊研修会や、ジュニアリーダー養成講座「あすかの会」を実施 ○親子防災講座においてボランティアや防災活動への参加等への意識を高めるとともに、租税教室を実施

環境教育の推進	○学校での環境教育を推進し、子どもたちが地域の自然環境について学び・考える機会を設ける ○帯広の自然や学校以外の教育施設を活用した体験機会を提供する	○当事者意識を持って課題解決する能力を養うため、生活体験を軸とした教育をすすめたほか、環境教育に取り組む学校、地域等の連携を促進するため「帯広らしい環境教育プログラム集」を発行し、ホームページに掲載 ○児童会館では、科学展示室の展示等により、環境について考え学ぶ機会を提供 ○百年記念館では、自然観察会やミニ百年記念館などの主催事業や出前授業により地域の自然について学ぶ機会を提供
---------	--	---

② 職業観の育成

主な取り組み	令和4年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和5年度の取り組み
学校におけるキャリア教育の推進	○「おび学ファイル(ポートフォリオ)」を継続活用し、系統的な学びの充実と社会的・職業的自立に向けたキャリア意識の向上が図られるよう、指導・助言を継続する ○積極的にキャリア教育に取り組んでいる学校の事例について、学校間連携が図られるよう情報共有をすすめる	○多様な職業について理解を深めるため、外部講師を招いた授業等を実施 ○一人一台端末を活用したオンライン工場見学やインターネットによる調べ学習等、キャリア・パスポートを活用した系統的な指導を実施
職業体験機会の充実	○関係課や参加企業と協力し、職業体験機会を提供する ○図書館においては、インターンシップや実習を継続的に受け入れ、希望分野に沿った職業体験機会を提供する ○百年記念館においては、地域資料を収集する博物館としての特色を活かしたインターンシップを継続し、地域に根差した職業体験機会を提供する ○動物園においては、飼育体験等の事業におけるアンケートでの満足度が高いことから、今後も内容の充実に向けて取り組む	○関係課や参加企業と協力し、職業体験や社会体験の機会を提供する「おびひろキッズタウン」を実施 ○図書館においては、インターンシップの受け入れや職業インタビューを通じ、市役所や司書の仕事について理解を深める機会を提供 ○百年記念館では、博物館の特色を活かしたインターンシップを実施し、地域に根差した職業体験機会を提供 ○動物園での体験型講座の実施（1日飼育係、小学生の1日飼育係、親子で飼育体験）インターンシップ、キャリア教育（講話）、職業調べへの協力

③ 情報教育の推進

主な取り組み	令和 4 年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和 5 年度の取り組み
情報活用能力の育成	○一人一台端末の日常的な活用の充実に取り組む ○地元企業等と連携した ICT を活用した教育をすすめる	○情報を整理・比較し、発信・伝達する力を育成するため、一人一台端末を活用した学習活動を実施したほか、ICT を活用した教員の指導力向上のため、おび GIGA 支援員派遣による校内研修等を実施
情報モラルの育成	○インターネットの利用に伴う危険性やフィルタリング機能の活用等について啓発に取り組む ○関係機関や事業者、家庭と連携し、情報モラルの育成に取り組む ○関係機関と連携し、SNS の正しい利用やインターネットの安全利用に関する啓発活動に取り組む	○正しい知識を身に付けるため、著作権やプライバシーの保護等について理解を深める学習を実施 ○関係機関との連携による講演会の開催や、販売店への立入調査などを実施
プログラミング教育の推進	○プログラミング教育を行う単位について、各学校が教育課程へ位置付けるとともに、中学校技術科において企業による専門的な授業を開催する	○プログラミング的思考や ICT を活用するために必要な資質・能力の育成を発達の段階に応じて実施

④ 国際理解教育の推進

主な取り組み	令和 4 年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和 5 年度の取り組み
外国語を用いたコミュニケーション能力の育成	○外国語によるコミュニケーション能力向上のため、小学校における外国語専科教員の配置や外国語指導講師を活用した授業に継続して取り組むとともに、研修を通じて外国語指導講師の授業力の向上を図る ○外国語指導講師等との触れ合いを通して、外国語による児童生徒の実践的・日常的コミュニケーション能力の向上を図る	○外国語運用能力向上のため、「読む・書く・聞く・話す」技能をバランスよく身に付けるための指導を実施 ○外国語指導講師（ALT）の指導力向上のための、「ALT 研修 TIME」を実施 ○発達の段階に応じて、国際交流員等を効果的に活用した、コミュニケーション活動を実施
多様な国の伝統・文化に関する理解の促進	○外国語指導講師による外国語のサポート学習に取り組むほか、体験的な活動を重視した国際理解教育の実践をすすめる	○他国の文化や歴史についての理解を深め、尊重する資質や能力を育成するため、外国語指導講師や市の国際交流員との交流等を通じて、多様な国の伝統・文化に触れる機会を提供

⑤ 南商業高等学校における教育の推進

主な取り組み	令和4年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和5年度の取り組み
商業教育の充実	○商業に関する実践的な知識・技術の定着と目標を持った学習を通じて、実践力を高める指導に取り組む ○多様な進路に対応した教育課程の編成に取り組む ○国際理解教育については、マディソン市派遣研修実行委員会等と連携してすすめる	○全国商業実務検定の1級を3種目以上取得した生徒の割合が82.4%と全道の商業高等学校のなかで最多 ○マディソン市派遣研修は現地の状況確認や、研修内容の検討のため中止
地域経済に貢献する人材の育成	○外部講師による講習会の開催のほか、進路指導や各種検定試験合格に向けた学習支援等により即戦力となる人材育成の充実に取り組む	○外部講師によるマナー講習会の実施。インターンシップや先輩訪問の実施
地域社会との連携・協働による教育の推進	○コミュニティ・スクールから学校運営に対する意見をいただき、教育活動について今後も改善を図る ○学校運営協議会から学校運営に対する意見をいただくなどして、学校の運営状況や教育活動の改善に継続して取り組む	○学校運営協議会の開催
地域とつながる活動の推進	○学校開放講座の、実施手法や内容の見直しをすすめ、地域住民に学習機会を提供する ○生徒のボランティア活動については、主催者等と連携した取り組みをすすめる	○学校開放講座の開催 ○ボランティア活動の実施

(2) 変化する社会に挑戦し、たくましく生きる力の育成

⑥ 学びを生かす力の育成

主な取り組み	令和4年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和5年度の取り組み
学校における授業の工夫・改善	○個別最適な学びと協動的な学びの一体的な充実に向け、一人一台端末をより主体的に活用する授業を通じ、「子ども」が主体となる授業実践をすすめる	○「主体的・対話的で深い学び」の視点を重視した、一人一台端末を活用した授業を推進

学習活動の支援	○一人一台端末で活用できる教材作りに継続して取り組む ○不登校児童生徒への学びの保障等、オンラインを活用した学びの更なる充実を図る ○「ぶっくーる便」の計画的な入替により子どもたちにとって魅力的な図書を提供する	○一人一台端末で活用できる教材や、副読本「おびひろ」（令和５年度発行）のデジタル版を作成 ○登校ができない児童生徒の学びを保障するため、メタバース空間を活用した学びを実施 ○令和５年度の「ぶっくーる便」は計画的な図書の入替により、904件（前年比199件増）と利用件数が増加
教育課程の工夫・改善	○目標の実現に必要な教育の内容等を横断的な視点で組み立てるカリキュラム・マネジメントの充実を図る ○全小中義務教育学校の適切な教育課程の編成と学習指導の改善に資するため、「教育課程編成の手引き」を見直す	○学習指導要領の趣旨を踏まえた教育課程の編成及び実施を支援するため、「教育課程編成の手引き」を作成 ○小中義務教育学校において、一貫性のある教育が実施されるよう、エリアを中心として小中連携を推進
学力の分析・検証	○学力の実態や標準学力調査の特徴を総合的に分析し、指導方法の改善につながる事項を明らかにし、学校に還元する	○標準学力調査結果の分析と指導のあり方について「帯広の子どもたちの学力」に整理し各校へ配付
体験的・問題解決的学習の推進	○図書館や児童会館において、学校の二ーズを踏まえながら各種の学習機会を提供する	○関係機関と連携し、オンラインを活用した施設見学を実施 ○図書館では、帯広畜産大学と連携し、課題解決型講座を実施 児童会館では、プラネタリウムや科学展示室、宿泊学習での科学実験学習や親子科学実験教室、工作教室を開催し、科学や自然を学ぶ体験機会を提供

⑦ 豊かな人間性と創造性の育成

主な取り組み	令和４年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和５年度の取り組み
道徳教育の充実	○校内外における教職員向け研修の充実を図り、道徳科の授業改善をすすめる ○子どもたちの道徳性を豊かに育むため、地域人材やゲストティーチャーを活用するほか、他教科との関連や評価の充実等による道徳科を要とした教育活動を展開する	○公開研究会等を活用した校内外における教職員向け研修の充実を図り、道徳科の授業改善を推進 ○子どもたちの道徳性を育むため、道徳科を要とした教育活動を展開

読書活動の推進	○図書ボランティアや司書教諭及び関係部署との連携を図る ○電子書籍の利用を通して読書活動の活性化に取り組む ○将来の担い手として、「語り手育成講習会」等により新規ボランティアを養成する	○市図書館司書の派遣による「学校図書館クリニック」を実施 ○朝読書等における一人一台端末から閲覧可能な電子書籍の活用 ○「語り手育成講習会」については、入門編、ステップアップ編と習熟度に応じて実施
文化芸術活動の推進	○演劇鑑賞等の良質な文化芸術に触れる機会を提供する ○感染症対策における経験を活かしながら、より効果的な学習発表会や文化祭の在り方を検討し、子どもたちの情操教育をすすめる	○子どもたちの感性や創造力を育むため、授業等において多様な文化芸術の体験的な学習活動を推進 ○各学校においてICTを活用した学習発表会や文化祭を展開
体験活動の推進	○各種社会教育施設と連携し、魅力ある体験活動を提供するとともに、感染症対策における経験を生かしながら、内容の見直しについて検討する	○「おびひろ市民学」において、ICTを活用したオンライン工場見学を実施 児童会館での科学教室・工作教室等の開催 動物園での体験型講座の実施（1日飼育係、小学生の1日飼育係、親子で飼育体験）

⑧ 健やかな体の育成

主な取り組み	令和4年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和5年度の取り組み
体力・運動能力の向上	○体力向上推進プロジェクトチームによる研修会の開催や各学校への大学教授等の専門的な指導を通じて、子どもたちの体力・運動能力の分析・検証をすすめ、授業改善に取り組む	○各学校において、過去の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を検証し、授業への反映や生活習慣の見直しを実施
安全・安心な学校給食の提供	○地場産食材の導入をすすめるほか、適切な栄養バランスを考慮した学校給食の提供により児童生徒の健全な心身の発達を図る ○食物アレルギーに関する正確な情報及び除去食の提供を行い、学校給食における事故防止に取り組む	○安全安心な地元産食材の導入促進 ○食物アレルギーを持つ児童生徒に対してアレルギー除去食（卵、乳）の提供。「給食だより」へのアレルギー情報の表示。

正しい「食」への理解の推進	○「食育通信」等の資料の配布や、帯広市食育推進部会による児童生徒と家族と一緒に朝食作りに取り組むイベント、食育講演会を実施する ○図書館では食育月間に合わせて、食をテーマにした映画会・おはなし会を開催する	○「食育通信」の発行 ○食に関する正しい知識の習得と望ましい食習慣の啓発を図るため「朝食レシピコンテスト」を実施 ○食の映画会「やまと尼寺精進日記 1-1」の上映や食に関するコラボおはなし会を開催
健康教育・健康保持	○子どもたちが性に関する正しい知識を身に付け、心身の発達に関して理解を深め、自分や他者の価値を尊重し相手を思いやる心を醸成できるよう、発達の段階に応じた教育をすすめる	○子どもたちの健康保持増進のため、学校の教育活動全体を通じて、がん教育や体育・健康に関する指導を実施

⑨ 教員の資質・能力の向上

主な取り組み	令和4年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和5年度の取り組み
教員の指導力の向上	○学力向上推進プロジェクトチームの会議等を通じて、教員の資質能力や豊かな人間性と社会性の向上を図る ○教職員向け研修の受講率向上を図るため、今日的な課題を取り上げる等、教職員の技能や指導力向上につながる講座の企画に取り組む	○授業改善に向けた指導主事による学校教育指導訪問を実施したほか、学力向上推進プロジェクトチームによる授業改善ワンポイント講座を実施 ○本格運用を開始した校務支援システムについて、教職員ヘルプデスクによるサポートや研修会を開催 ○教職員の受講率向上に向けた講座を企画
教職員の働き方改革の推進	○「帯広市立学校における教職員の働き方改革推進プラン（第2期）」に基づく取り組みをすすめる ○校務支援システムの活用の促進や操作の定着を図るため、研修会等を実施する ○教職員向けの研修について、オンラインの活用や対面方式での実施等、教職員の負担軽減に向けた体制づくりをすすめる	○教職員の負担軽減の観点から、オンライン受講可能な研修を実施 ○校務支援システムの活用を促進するため、研修会等を実施

(3) 地域とともに育む教育の推進

⑩ 地域との連携・協働の推進

主な取り組み	令和4年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和5年度の取り組み
地域における支援体制の充実	○「地域とともにある学校づくり」をすすめるため、地域との熟議や協働による取り組みをすすめる ○指導主事による学校教育指導訪問時に、取り組み状況に応じた全国の好事例を情報提供する ○学校と地域との連携した活動や地域コーディネーターの研修等に取り組むほか、こども学校応援地域基金を活用した支援を周知し、ボランティア団体間の連携した活動の拡大を図る	○全市立学校でコミュニティ・スクール協議会を実施し、学校・家庭・地域で目指す子ども像を共有 ○学校・家庭・地域が一体となった活動の促進や人材育成のため、「帯広市学校・家庭・地域協働会議」における意見交換や研修会を実施 ○新規CS委員向けの研修会を開催(2回)し、制度の周知に努めたほか、こども学校応援地域交付金を交付(17団体)し、ボランティア団体間の連携した活動を支援
子どもの安全対策の充実	○活動団体の担い手確保を継続し、地域ぐるみで見守り活動に取り組むほか、「帯広市子供安全ネットワーク」の周知をすすめる ○通学路の安全確保については、関係機関と情報の共有を図り、危険個所の合同点検を実施する ○登録者の確保により「子ども110番の家」設置個所の拡充を図る	○熱中症等の情報も加えた「帯広市子供安全ネットワーク」による保護者への情報発信 ○通学路危険個所の点検と公表 ○登下校時にその身に危険が迫った場合等に逃げ込む「子ども110番の家」の設置(981個所)
地域主体の体験活動への支援	○子どもの居場所づくり事業は、事業を担うボランティア登録者数や実施回数及び参加児童数が感染症流行以前より減少しているため、実施方法やPR活動を工夫し事業を継続する ○青少年育成団体の各事業においては、関係団体と協力し、魅力ある体験活動機会を提供する	○プラザまつりや市内小売店等でPR活動を行ったほか、複数学年合同で放課後子ども広場を実施 ○地域のリーダーを養成するための研修会や十勝子ども雪上ばんば等の体験活動を実施

⑪ 家庭教育への支援

主な取り組み	令和 4 年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和 5 年度の取り組み
教育相談の充実	○教育相談員体制のさらなる充実と、より有効な教育相談員の活用を図るため、配置日数の調整等の工夫をすすめる ○相談員会議等を通して研修を深め、相談業務の充実を図る	○こころの教室相談員及び家庭訪問相談員を配置し、子どもの教育に関する悩みについての相談に対応
家庭教育力向上のための支援	○学校においては、子どもたちの基本的な生活習慣の確立に向けて、「おびひろ市民学」を中核として消費者教育・人権教育等様々な視点から啓発をすすめる ○家庭に向けて、図書館における絵本セットの内容の充実に取り組む ○「食育通信」の配布により、ライフスタイルの変化による児童生徒の食生活の乱れ改善に取り組む	○子どもたちの基本的な生活習慣の確立に向けて、起床や食事の摂取状況を記録するためのシートを学校にて配布し、家庭への助言を実施 ○図書館では、絵本セットの内容の見直しに向けて、専用のバックを更新 ○「食育通信」の配布
PTA との連携の促進	○各校のPTAや帯広市PTA 連合会等との情報交換をすすめるほか、関係団体への行政支援を継続し連携も深める	○家庭における教育力を高めるため、各校のPTAや帯広市PTA 連合会等との情報交換を実施 ○帯広市PTA 連合会へ補助金の支出、後援などによる支援の実施

⑫ 学びと育ちをつなぐ学校づくりの推進

主な取り組み	令和 4 年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和 5 年度の取り組み
学校間の連携の推進	○小中一貫教育の更なる充実に向け、教育課程の見直し及び編成をすすめる ○幼保・小・中における授業交流や乗り入れ授業を行うとともに、教員による部会を設定し、教育実践の交流や教育課題の共有を図るなど、より詳細な情報共有や学校種間の連携強化をすすめる	○「帯広市エリア・ファミリー構想」に基づき、職員間交流を通じた情報共有を実施 ○エリア・ファミリーの代表者が集まり、生徒指導に関わる諸問題について協議し、エリア共通の取組を推進

通学区域の見直しの実施	○通学距離、幹線道路、河川等の地理的条件や地域コミュニティとの整合性、一つの小学校から複数の中学校に分かれる分散進学の解消等に配慮し、通学区域の見直しをすすめる	○学校の適正規模の確保に関する取り組みと合わせ、通学区画の見直しの検討を実施
-------------	--	--

(4) 安全・安心な教育環境の整備

⑬ 誰もが安心して学べる教育の推進

主な取り組み	令和4年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和5年度の取り組み
いじめ・非行の防止	○いじめの未然防止や就学に対する支援等、誰もが安心して学ぶことができる環境の整備をすすめる ○街頭巡回指導等や非行防止活動に取り組む	○道徳科の学習を要として、子どもたちの意識向上に取り組んだほか、対策委員会等による啓発活動を実施 ○地域の指導協力員と街頭巡回指導等を通じた非行防止活動を実施
不登校への対応	○教育相談員の専門性の向上を図る研修の実施や相談体制の充実、関係機関との連携強化をすすめる	○不登校傾向の子どもに対して、教育相談員と連携し、子どもや保護者からの相談対応や助言等を実施 子どもの自立や学校生活への復帰を支援するため、適応指導教室の運営、一人一台端末を活用したオンライン授業等を実施
教育機会の確保	○就学や通学に関わる経済的な支援を行う ○スクールバスの安定的な運用のため、車両更新や運転手の確保について検討する ○市内高校の間口を維持・確保するため、会議等の機会を通して情報収集や要望活動を行う	○就学や通学に関わる経済的な支援を実施 ○広野・八千代地区のスクールバスを更新したほか、運転手の確保を検討 ○市内高校の間口を維持・確保するため、関係者間での情報収集や意見交換の実施
一人ひとりに応じた教育の充実	○教育相談体制の確保と関係機関との連携強化を図るとともに、特別支援学級の継続設置や通級指導教室の開設等により、多様な学びの場の整備をすすめる ○教職員向けの研修により、LGBT等やヤングケアラー、障害のある児童などへの理解促進の取り組みをすすめる	○個別の指導計画及び教育支援計画の作成、関係機関・保護者との情報共有や特別支援教育に係る教員の知識・技能の習得を推進 ○LGBT等に関する理解を深める研修会を開催

⑭ 安全で充実した教育環境の整備

主な取り組み	令和 4 年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和 5 年度の取り組み
学校施設の整備	○「帯広市学校施設長寿命化計画」に基づき、計画的かつ継続的な修繕を行い、学校施設の長寿命化及び機能・性能の改善に取り組む	○小中学校において、屋内運動場屋根改修工事、旧大空小学校解体工事（１期）、南町中学校長寿命化計画の基本設計、小学校のエアコン設置に向けた事前調査、屋内運動場床研磨修繕を実施 南商業高等学校において、特別教室等に網戸を設置、屋内運動場バスケットゴール修繕を実施
学習環境の整備	○小中義務教育学校においては、児童生徒が主体的に学び、自ら問題を発見し解決できる力の育成を図るため、一人一台端末の活用範囲の拡大をすすめる ○南商業高等学校においては、商業に関する専門教育の実施や高度な資格取得のため、情報機器等の環境整備をすすめる	○授業での一人一台端末の活用をすすめる、長期休業時での持ち帰りによる自宅学習にも活用 ○端末を用いた情報処理やマーケティング授業などに使用するサーバー機器を更新
学校適正規模確保の推進	○児童生徒数及び学級数を推計し、結果について市民へ情報提供する ○学校の小規模化による影響の緩和を図る取り組みをすすめる	○児童生徒数、学級数及び今後の推計値のホームページ上での公開 ○小規模校化による影響の緩和を図るため、近隣校での交流授業の実施

（５） 自ら学びともに支える生涯学習の推進

⑮ 学習活動の促進

主な取り組み	令和 4 年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和 5 年度の取り組み
学習機会や情報の提供	○市民大学講座は、市民ニーズを踏まえた講座テーマの設定、開催方法の工夫等により、市民が参加しやすい学習機会を提供するほか、生涯学習情報誌「まなびや」による情報提供を行う ○図書館では、他機関との連携の輪を広げ、幅広い分野に拡大し、厚みのある事業に取り組む ○百年記念館では、博物館ならではの講座の開催、展示の企画に取り組む	○市民大学講座において、新たに天体観測講座や参加型の防犯講座などを開講したほか、生涯学習情報誌「まなびや」を発行 ○図書館では、アマチュア落語団体と共催し、「出前落語高座」を開催 ○百年記念館では、十勝に関する多方面の最新研究情報などを博物館講座で提供したほか、特別企画展「十勝縦断生物誌」を開催

	○動物園では、講座の定員に対して応募者数が多いことやアンケートでの満足度が高いことから、引き続き内容の充実をすすめる	○教育講座（おび Zoo 寺子屋等）、体験講座（飼育体験ほか）の実施、SNS による情報発信
--	--	--

⑩ 学習を通じたまちづくり

主な取り組み	令和 4 年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和 5 年度の取り組み
自主的な学習活動の支援	○図書館では、ボランティアと情報交換を図りながら相互連携をすすめ、活動を支援する ○百年記念館では、ボランティアの知識向上のために研修会等の学習機会を確保し、知識を活かした新たな活動の場を提供するほか、ボランティア活動を行う人員の充実に取り組む ○動物園では、今後も学生等の活動主体が積極的に活動できるよう支援する ○地域の生涯学習活動では、生涯学習推進委員会等の社会教育団体が地域で行う多様な活動の支援に取り組む	○図書館では、読み聞かせや朗読ボランティアと共催でおはなし会や朗読会を実施 ○百年記念館では、ボランティア向けの研修会を実施 ○動物園では、学生のボランティア活動に対する助言等のサポートを実施 ○生涯学習推進委員会によるコミュニティ講座において、地域住民への生涯学習機会や交流機会を提供
地域の人材の育成・活用	○生涯学習指導者登録制度の認知度を高め、利活用を図るため、情報発信の強化と登録者数の確保に取り組む	○生涯学習指導者登録制度での、指導者登録を公開したほか、地域における生涯学習活動支援のための情報発信を実施

⑪ 社会教育施設の整備・管理運営

主な取り組み	令和 4 年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和 5 年度の取り組み
計画的な施設整備の実施	○「公共施設マネジメント計画」に基づく施設の長寿命化等を通し、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組む	○とちまちプラザにおける外壁改修工事、空調機中央監視装置設計委託、レインボーホールパワーアンプ更新 図書館における自動ドア装置修繕、車庫シャッター等を修繕 児童会館における蛍光灯照明の LED 化着手等を実施 動物園における新サル舎電灯暖房修繕、園路整備、馬ふれあい舎整備、ビジターセンター整備、東側トイレ整備、新キリン舎整備に着手

適切な管理運営の推進	○とにかちプラザでは、指定管理者による適切な管理運営と利用者サービスの向上に取り組む ○図書館では、適切な管理運営と図書館サービスの向上に取り組む ○児童会館では、科学展示室の展示やプラネタリウム投影、各種イベントやクラブを開催するほか、学びと遊びの機能の充実に取り組む ○百年記念館では、利用者ニーズを念頭に置き、利便性の向上を図るほか、効果的・効率的な管理運営に取り組む ○動物園では、地域に根差した魅力ある動物園と感じられるよう、講座等の学習機会の提供やレクリエーション機能の充実に取り組む	○図書館では、こどもの本の森のベンチを修繕し、安全・安心して過ごせる環境を整備 ○児童会館では、科学展示室の展示やプラネタリウム投影、各種イベントやクラブを開催したほか、昭和 50 年代の中心市街地のジオラマ常設展示コーナーや「デジタル遊具コーナー」を開設 ○百年記念館では、アンケートを用いた利用者ニーズの確認を実施 ○動物園では、一日飼育係やおび Zoo 探検隊等の講座のほか、海の日やハロウィンのイベントを実施
------------	---	--

（６） 人が輝く文化芸術活動の推進

⑱ 文化芸術の「つくる・みる・ささえる」人の協働

主な取り組み	令和 4 年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和 5 年度の取り組み
市民文化芸術活動の促進	○市民の主体的な文化芸術活動を促進するため、市民に発表の機会や交流の場を提供する事業に継続して取り組む ○「とにかちジュニア文芸文章教室」を開催し、子どもたちの創作意欲・読解力・表現力の向上を図る ○市民の文化芸術活動を支援するため引き続き学校施設の開放事業を行う	○市民芸術祭や新人演奏会等の事業を実施 ○とにかちジュニア文芸文章教室を開催 ○学校施設開放事業の実施
文化活動団体の活動支援・指導者育成	○文化団体等の活動情報提供を継続するほか、文化活動を行う個人・団体の顕彰や支援を行う	○ホームページなどを活用し、文化団体の活動情報を提供、文化賞等による表彰（2 個人）
文化芸術の鑑賞機会の提供	○鑑賞者アンケート等を踏まえた事業を実施し、市民が良質な文化芸術を直接鑑賞する機会の提供に取り組む ○市民が身近に芸術・文化に親しめる機会を提供するため、北海道立帯広美術館の特別企画展へ参画する	○音響コンサートや演劇、落語等の公演の実施

⑱ 文化資源の継承・活用

主な取り組み	令和 4 年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和 5 年度の取り組み
文化財等の調査・保存・活用	○文化財の適切な管理や、必要性に応じた史跡標示板の修繕を行う ○「八千代 A 遺跡出土品」を適切に保存し積極的に活用するため、計画的に取り組みをすすめる	○文化財の適切な管理や、必要性に応じた史跡標示板の修繕を行うほか、文化財を活用・公開する事業を継続して実施する ○「八千代 A 遺跡出土品」を適切に保存し積極的に活用するため、専門業者による修理・美装化を実施できるよう計画的に取り組みをすすめる
アイヌ伝統文化の調査・保存伝承・普及	○帯広カムイトウウポポ保存会伝承活動補助及び伝統的生活空間再生事業を継続し、アイヌ伝統文化の保存・伝承団体への支援に取り組む	○帯広カムイトウウポポ保存会伝承活動補助金による活動の補助、伝統的生活空間(イオル)再生事業として古式舞踊の披露や植物観察会等の講座を実施
市史資料収集・保存	○「年史報告書」の作成に取り組むとともに、令和 14 年度に迎える帯広市開拓 150 年・市制施行 100 年を見据えて、資料収集事業に取り組む	○各種の周年事業に際し、これまで蓄積したデータを活用しながら企画を構成。企画を通じて、新しい資料の発掘など情報収集を実施

⑳ 文化施設の整備・管理運営

主な取り組み	令和 4 年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和 5 年度の取り組み
計画的な施設整備の実施	○「公共施設マネジメント計画」に基づく施設の長寿命化や施設総量の適正化等を通し、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組む	○株式会社六花亭様から寄贈いただいた「小ホール客席椅子」の更新、故障時の影響や緊急性を勘案し、小ホール内の照明操作をする「小ホール調光操作卓」を更新
適切な管理運営の推進	○適切な管理運営と利用者サービスの向上に継続して取り組む	○指定管理者への適切な支援と、指定管理者の節減努力等により安定した経営を行い、利用者サービスを維持

(7) 笑顔をつなげるスポーツ活動の推進

⑪ 多様なスポーツ活動の促進

主な取り組み	令和4年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和5年度の取り組み
スポーツの振興	○競技大会への選手等の派遣支援を通して、競技スポーツ活動を支援する ○スポーツ賞、スポーツ奨励賞の実施や市民へのスポーツ観戦機会の提供により、スポーツ振興をすすめる	○大会派遣に係る経費の補助、スポーツ賞等による団体、個人への表彰、合宿・プロスポーツ等の誘致による市民へのスポーツ観戦機会の提供
スポーツ団体の支援・指導者人材の育成	○安全確保に関する研修の実施などを通して指導者の資質向上に取り組み、少年団へ安心して加入できる環境づくりに取り組む	○スポーツ少年団本部及びスポーツ協会を通じた指導者への研修等の支援
スケート競技の振興	○各種競技スポーツを普及し、競技者人口の拡大や競技力の向上に取り組むほか、各種大会等の開催を支援する ○「ほっとドリームプロジェクト」や、明治北海道十勝オーバルの十勝管内小学校への授業開放を通して、スケート競技の普及促進に取り組む	○2023/2024 ISU ワールドカップ スピードスケート競技大会・帯広大会をはじめ各種大会等の開催支援 ○「ほっとドリームプロジェクト」実施。明治北海道十勝オーバルの十勝管内小学校への授業開放の実施

⑫ スポーツによる活力のあるまちづくり

主な取り組み	令和4年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和5年度の取り組み
地域スポーツの振興	○スポーツ教室の開催を通じて、多くの市民がスポーツに親しみ、楽しむことのできる機会づくりに取り組む ○学校施設のスポーツ開放において、市民へのスポーツ活動の場を提供するため、利用しやすい環境づくりと情報発信に取り組む	○各種スポーツ教室、スポーツフェスティバルの開催 ○学校体育館のスポーツ開放事業の実施
スポーツ大会合宿等誘致	○スポーツ合宿の誘致については、各競技団体と連携を図り、支援体制等ニーズを把握しながら受入体制の整備をすすめる	○大会開催支援、プロスポーツチーム等の合宿受け入れ、全国高等学校総合体育大会、スピードスケート国際大会、クラブユースサッカー選手権大会（U-15）、プロ野球公式戦、フードバレーとかちマラソンの開催

②③ スポーツ施設の整備・管理運営

主な取り組み	令和 4 年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和 5 年度の取り組み
計画的な施設整備の実施	○「公共施設マネジメント計画」に基づく施設の長寿命化や施設総量の適正化等を通し、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組む	○帯広の森陸上競技場走路・助走路等修繕、帯広の森市民プール ろ過装置残留塩素濃度計交換修繕、帯広の森体育館特定天井対策・照明 LED 化改修工事、帯広の森運動施設高圧ケーブル等改修工事の実施
適切な管理運営の推進	○多様化していく利用者ニーズに効果的・効率的に対応するため、指定管理者制度及び地域住民や団体の協力による管理運営に取り組む	○スポーツ施設における指定管理者制度による管理運営の実施、パークゴルフ場における市民協働による管理運営の実施